

平成筑豊鉄道（株）安全報告書

2016年度版



この報告書は、当社における鉄道輸送の安全確保に向けた取り組みや安全の実態をまとめたものです。

1. ご利用者はじめ沿線地域の皆様へ

弊社をいつもご利用下さいましてありがとうございます。

また、弊社の鉄道事業に対して格別のご理解誠にありがとうございます。

弊社は、「安全」を事業運営の基本とし、「お客さまの安全が最優先」を経営トップを始め全社員が念頭におき、安全・安定輸送に努めております。今後ともさらに安全の確保に努め、公共交通機関としての信頼性の向上を目指してまいります。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取り組みや安全の現況について、自ら振り返るとともに広くご理解いただくために公表するものです。皆様からの声を輸送の安全に役立てたく、積極的なご意見等を頂ければ幸甚に存じます。

平成筑豊鉄道株式会社 社長 二場 公人

2. 基本方針と安全目標

(1) 基本方針

当社は企業理念として次のことを掲げています。

「安全を第一に地域とともに未来に向けて歩む鉄道サービス企業を目指します。」

その企業理念を実践するために社員一人ひとりが心がける行動理念を定めています。

- 私たちは安全を第一に考えます
- 私たちはお客さまを快適に目的地までご案内します
- 私たちは地域の財産である鉄道を守っていきます
- 私たちは鉄道を通じて社会や地域に幸せと笑顔を運びます

さらに、安全・安定輸送の指針として次の「安全基本方針」を掲げ、全社員に周知徹底しています。

- ①安全の確保は、輸送の生命である。
- ②規程の遵守は、安全の基礎である。
- ③執務の厳正は、安全の要件である。

(2) 安全目標

区 分	項 目	内 容
定量的な目標	列車事故の防止 (衝突・脱線・火災)	重大列車事故を発生させない
	お客さまの死傷事故の防止	乗客の死傷事故を発生させない
	踏切事故の防止	踏切故障等による人身事故を発生させない

3. 事故等の発生状況とその再発防止処置

(1) 鉄道運転事故

2015年度は、事故は発生していません。

鉄道運転事故発生件数（過去5年間）

事故種別 \ 年度	2011	2012	2013	2014	2015
列車事故	0	0	0	0	0
人身傷害事故	0	0	0	1	0
踏切障害事故	0	0	1	0	0

(2) 災害（地震、暴風雨、雪害等）

2015年度は、8月25日の台風による災害で145本の列車が運休し、1月24日と1月25日の雪害による災害でそれぞれ21本、49本の列車運休が発生しました。

(3) インシデント（事故の兆候）

2015年度のインシデントは、4月4日に田川線東犀川三四郎～犀川間でレール継ぎ目破損が発生し、6本の列車運休等が発生しました。

(4) 輸送障害（列車の運休もしくは遅延が30分以上のもの）

2015年度は、輸送障害が6件発生しました。

車両故障	1
線路故障	1
保安装置故障	1
列車支障	1
災害その他	2

(5) 行政指導

国土交通省九州運輸局から平成27年8月の保安監査において、土木、電気、車両の各部門の保守・管理が不十分であると改善指示がなされました。この改善指示に対して、九州運輸局に改善策を提出するとともに改善箇所に対して処置を講じました。

4. 輸送の安全確保の取り組み

(1) 重点安全施策

① 鉄道人身傷害事故の絶滅

昨年度に引き続き乗務員の教育訓練を更に充実させるとともに、構内に線路を横

断する旅客通路がある駅では、定期的にお客さまへの通行指導を行います。また、駅一斉放送による旅客通路通行時のお客さまへの注意喚起を行っており、今後ともこれを継続します。

また、当社は、全てワンマン列車で運行しております。特にお客さまの乗降時には放送による注意喚起やドア開閉を乗降に併せて適切に行うなど傷害事故防止に努めます。

② 運転保安障害事故防止

2015年度は、運転保安障害の防止対策として、通信線1,750mの取替え等を行いました。

〈踏切ご利用の皆様へ〉

踏切は、昼夜を通して列車が通る際に横断する歩行者や自動車等の安全を確保するための設備です。しかし、落雷等により警報機が故障する場合がありますので、踏切では必ず一時停止のうえ左右の確認をお願いいたします。自動車等が踏切横断中にしゃ断棹が降下し、踏切内に閉じ込められた場合は、そのまま自動車等でしゃ断棹を押し上げて脱出してください。しゃ断棹は斜めに上がる構造となっています。もし脱輪等で踏切から脱出不可能の場合、運転者、同乗者の方は直ちに車外に出て踏切外に退避して下さい。

③ 線路等の故障防止

線路は、列車を走らせお客さまを安全・快適に目的地までお送りするための重要な設備です。線路等の適切な点検・保守は安全性、快適性を保つためには欠かすことのできないものです。

2015年度は、橋まくら木の交換88本、レールの50Nへの交換400m及びTPCまくら木交換140本を行いました。

(2) 人材教育

弊社では、安全・安定輸送を確保するため、OJT教育を主体に各部門の技術継承に努めています。各部門の業務内容は以下のとおりですが、それぞれにエキスパートに育て上げるため地道な技術継承教育を継続しています。

① 運転指令業務

列車運行全般の指示・命令を統括する業務であり、十分な教育と経験が必要となります。



②乗務員 金田運転指令室で列車の運行管理を行っています

乗務員は、昼夜を問わずお客さまの安全を担って列車の運転を行っています。昨年度は新人3名が乗務員となり、日々安全運転に邁進しています。「基本動作を大切に、初心忘るべからず。」が事故防止の基本です。

なお、2016年度は、乗務員を養成する計画はありません。



「出発進行」指差確認喚呼 基本動作は安全の基本です

③車両関係業務

車両関係社員の業務は、安全・安定輸送確保のため車両の状態を健全に保持するため、OJTで日々技術力を高めています。なお、2015年度は、3両の全般検査（新製から8年目、以降8年毎の検査）を行いました。2016年度は、3両の全般検査を予定しています。

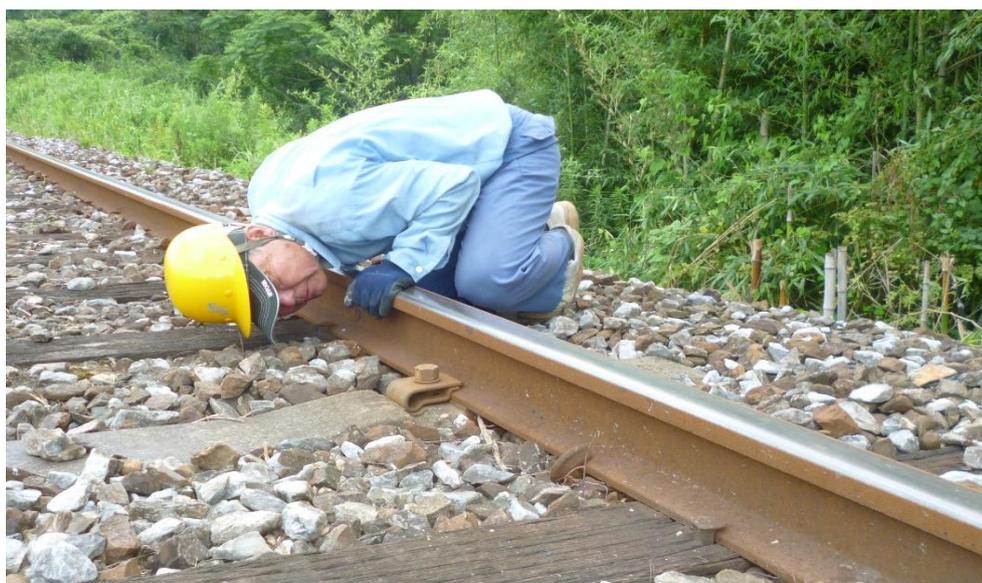


安全・快適な輸送のため検査、修繕等車両のメンテナンスに努めています

④工務関係業務

工務関係社員は、線路、橋りょう、トンネル等の点検・保守等を行っています。今後の技術継承を見据えて、他部門から工務部門へ社員の配置転換を行い、技術・知識向上に向けて日々努力しています。

工務関係社員は、大雨、台風等で災害等が予想される場合は、列車の安全運行のため、軌道自転車や徒歩で線路や構造物の点検を行うことも重要な業務の一つです。



安全に列車を走らせるため線路点検を定期的に行います。

⑤電気関係業務

信号機にトラブルが発生すると列車の安定輸送に影響を及ぼします。電気関係社員は、信号機を始め、踏切、列車無線、駅構内放送設備等の点検・保守を行っています。



信号装置は運転保安の最も重要な装置の一つ、ただ今リレーを点検中です

(3) 安全のための投資と実績

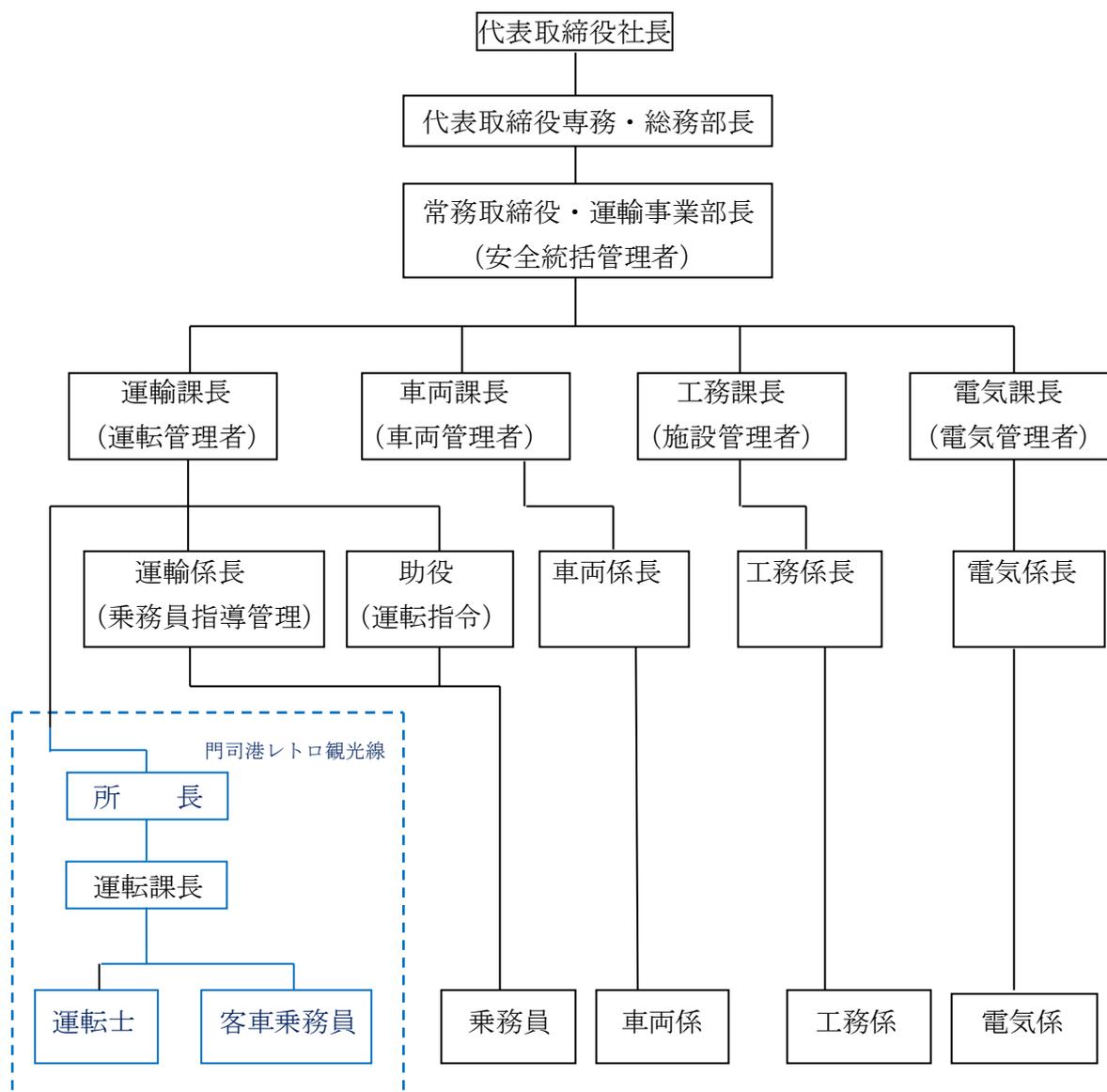
項目 \ 年度	2013	2014	2015	2016 (予定)
車両	・重要部検査 (3 両)	・全般検査 (3 両) ・重要部検査 (1 両)	・全般検査 (3 両)	・全般検査 (3 両)
信号保安設備	・信号連動メモリー 新設	—	—	・軌道リレー取替 ・発条転てつ器取替
踏切保安設備	・踏切警報機の取替	・踏切器具箱取替 ・踏切制御子取替	—	・踏切器具箱更新
通信保安設備	・通信柱の交換	—	・糸田線、田川線通 信線取替	・通信ケーブル取替
軌道	・木まくら木交換	・木まくら木交換	・嘉麻川橋りょうま くら木交換 ・伊田線レール交換	・木まくら木交換 ・伊田線レール交換
構造物	—	・嘉麻川橋梁防護工 取替 ・田川線のり面コン クリート化 ・田川線土留柵新設	—	・柿下温泉口～内田 間盛土法面地質調査 及び補強工事及び排 水工事



金田駅車両基地

5. 安全管理体制

安全確保のため社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務と役割を明確にしています。



役職名	役 割
社長	会社の代表取締役として輸送の安全の確保に関する責任を負う
専務取締役 (総務部長)	代表権を持つ業務全般の執行権者として輸送の安全に関する責任を負う
運輸事業部長 (安全統括管理者)	輸送の安全確保に関する業務を統括管理する
運輸課長 (運転管理者)	安全統括管理者の指揮のもと、運転に関する事項を統括する
車両課長 (車両管理者)	安全統括管理者の指揮のもと、車両に関する事項を統括する
工務課長 (施設管理者)	安全統括管理者の指揮のもと、鉄道施設、軌道・土木設備に関する事項を統括する
電気課長 (電気管理者)	安全統括管理者の指揮のもと、電気に係わる施設及び設備に関する事項を統括する

6. 連携とお願い

(1) 踏切通行時にご注意下さい

踏切では必ず一旦停止を行い、左右の安全を確認して通行してください。



- ◆踏切の横には踏切名称と連絡先を記入した「連絡依頼標」を設置しています。踏切に異常等があった場合には踏切名と状況のご連絡をお願いします。



- ◆踏切の非常ボタンを押すイタズラが増加しています。イタズラを見つけた場合は一言注意して頂きますようお願いいたします。



(2) 特に注意していただきたい踏切

下表の踏切は、それぞれの理由により特に注意していただきたい箇所です。

踏切名	線名	所在地	記事
お寺前踏切	伊田	福智町上金田	しゃ断棹折損多発、踏切の直近に交差点
上金田大踏切	伊田	福智町上金田	しゃ断棹折損多発、踏切の直近に交差点
長浦公民館前踏切	伊田	田川市下伊田	しゃ断棹折損多発、踏切の直近に交差点
宮床踏切	糸田	糸田町宮床	直近で県道と合流（信号機なし）
神田踏切	田川	行橋市西泉	自転車、歩行者通行（しゃ断機、警報機なし）

- ◆特に自動車等での通行のとき、踏切前後に交差点がある場合には、閉じ込められない

よう余裕を持って踏切を渡って下さい。閉じ込められた場合は、そのまま前進し、しゃ断棹を押し上げて自動車等を線路外に脱出させて下さい。しゃ断棹は自動車をゆっくり前進させると45度の角度で簡単に押し上げることができます。踏切内で身動きが取れなくなった場合は、車の外に出て非常ボタンを押して下さい。

(3) 列車接近警報鳴動時の構内通路のご利用は禁止です

列車は滑走等で所定の停止位置に停止出来ない場合があります。列車接近時の横断は非常に危険です。列車接近警報鳴動時は線路を横断しないようにお願いします。



構内旅客通路



上：列車接近警 下：注意書き

(4) ホームにおける転落防止について

ホームにおける転落防止について、ホーム上の段差、車両とホームとの隙間にご注意ください。また、歩きながらの携帯電話等の使用については控えて下さいますようお願いいたします。

(5) こども110番

平成筑豊鉄道では、地域の子供を守るため全社員で「こども110番」の取組みを行っています。子供が助けを求めてきた場合は、社員が保護し子供に代わって110番通報を行うなどの対応を取ります。

(6) 乗車マナーについて

駆け込み乗車は、手や足をドアに挟む事故の原因となり大変危険です。駆け込み乗車はしないようお願いします。また、駅のホームや車内の床への座り込みは、他のお客さまのご迷惑となるほか、移動するお客さまの転倒につながる恐れもあります。座り込みはご遠慮ください。

乗車マナーを守ってお互いに気持ち良くご乗車できますようご協力をお願いします。

(7) マナー指導員について

平成18年10月から当社ご利用にあたって、お年寄り、お身体の不自由な方等のお手伝い、駆け込み乗車防止、駅ホーム及び車内の座り込み防止、不正乗車防止等を目的としてマナー指導員を乗車させています。

(8) テロ対策

車内で不審者、不審物を発見したときは、乗務員に連絡するか車内警報ブザーを御使用下さい。

(9) 列車内での緊急通報

列車内で異常等が発生した場合は、乗務員に連絡するか車内警報ブザーを御使用下さい。



車内警報ブザー



テロ対策掲示・こども110番

7. ご連絡先

安全報告書へのご意見・ご感想、当社の安全への取組みに対するご意見をお寄せ下さい。

平成筑豊鉄道株式会社

TEL 0947-22-1000

FAX 0947-22-0910

Eメール heichiku@fukuoka.email.ne.jp